

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 36 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 7 年 8 月

長浜商工会議所

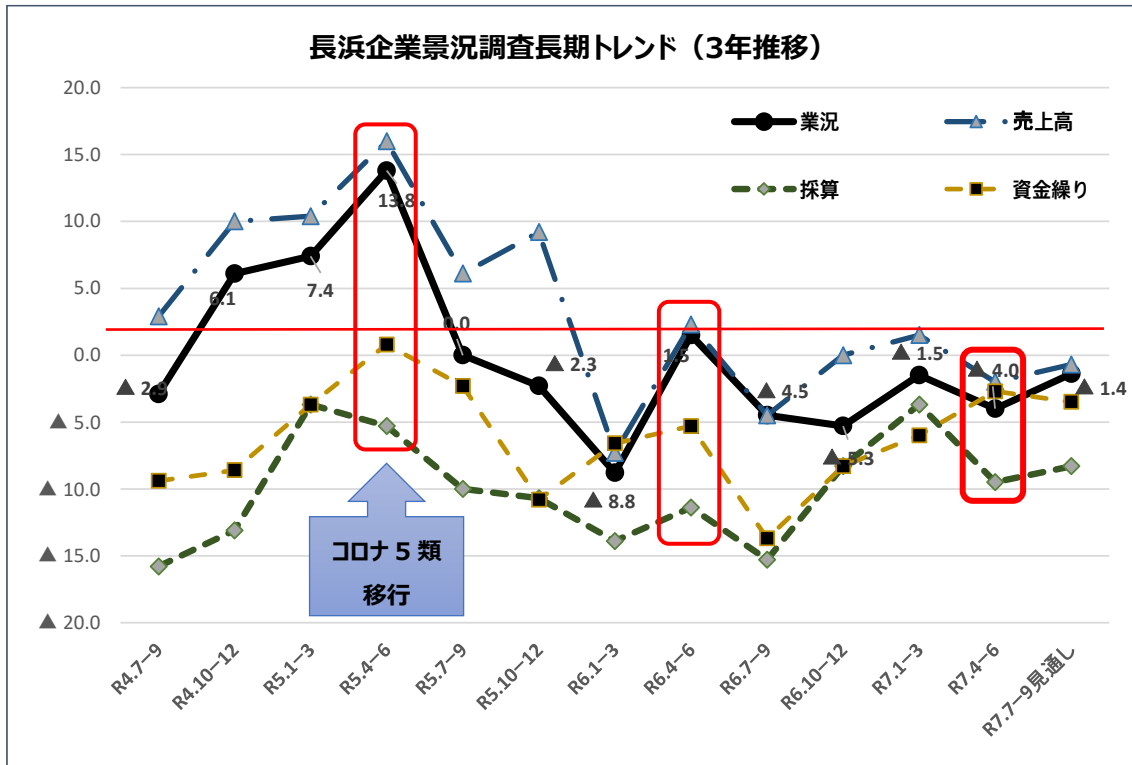
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査：各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査：設備投資計画と業況D I の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（（株）しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

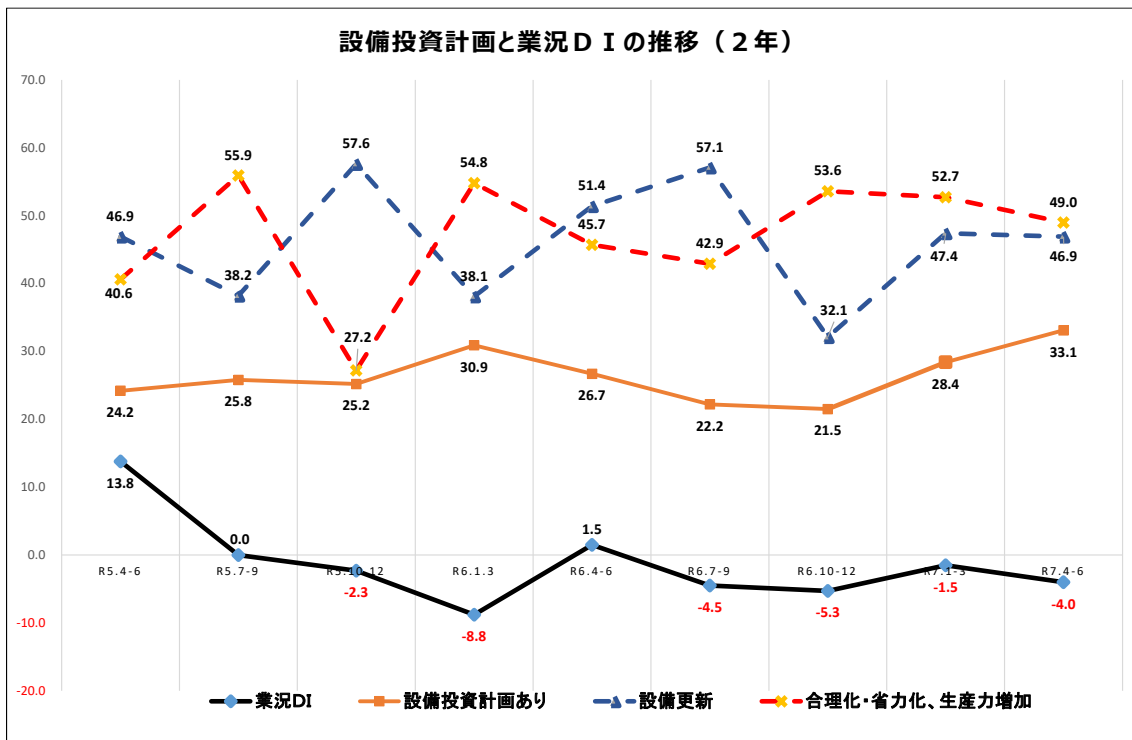
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…設備投資計画と業況D I の推移 (2年)



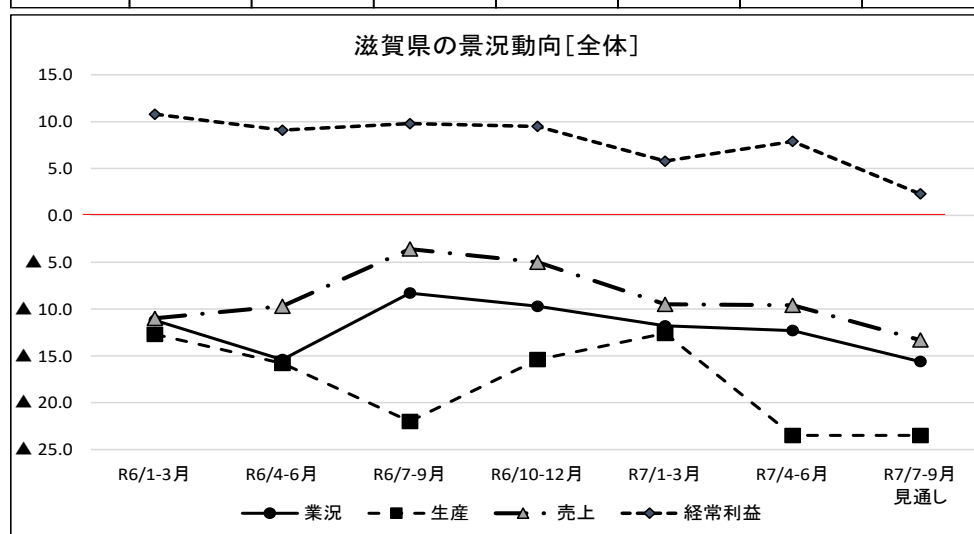
2. 滋賀県の景況

(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

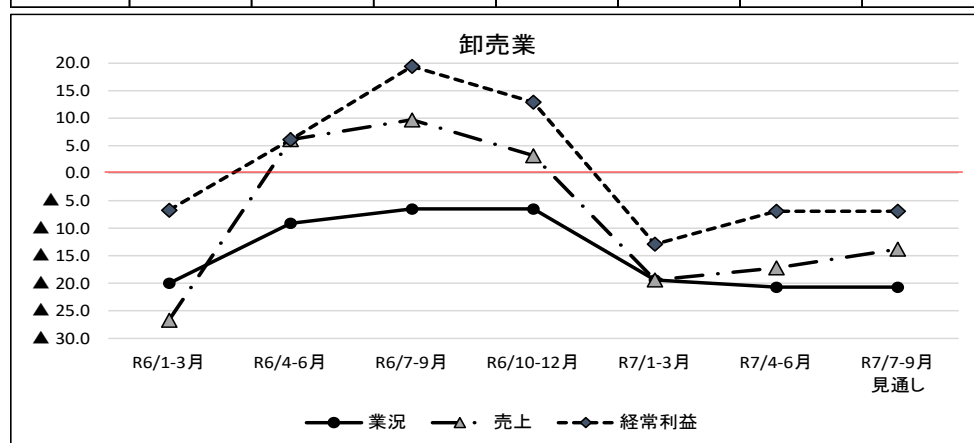
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R7/4-6月実績、R7/7-9月見通し）〔前年同期比較〕

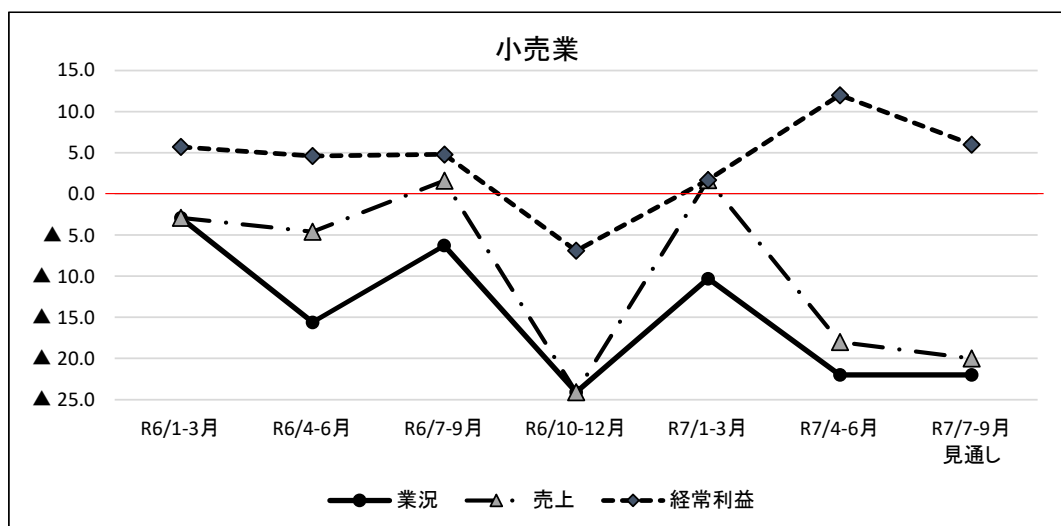
全体	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 15.6
生産	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 23.5
売上	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 13.3
経常利益	10.8	9.1	9.8	9.5	5.8	7.9	2.3
雇用の水準	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 36.7	▲ 36.3
傾向	×	×	●	×	×	×	×



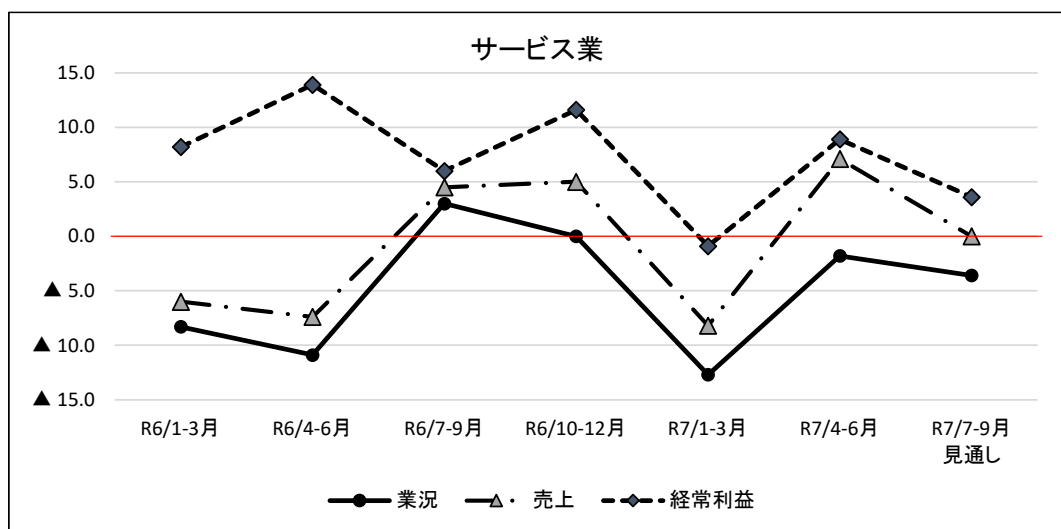
卸売業	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 20.7	▲ 20.7
売上	▲ 26.7	6.1	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 17.2	▲ 13.8
経常利益	▲ 6.7	6.1	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 6.9
資金繰り	▲ 6.9	▲ 18.2	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 20.7	▲ 20.7
傾向	×	●	●	▲	×	×	▲



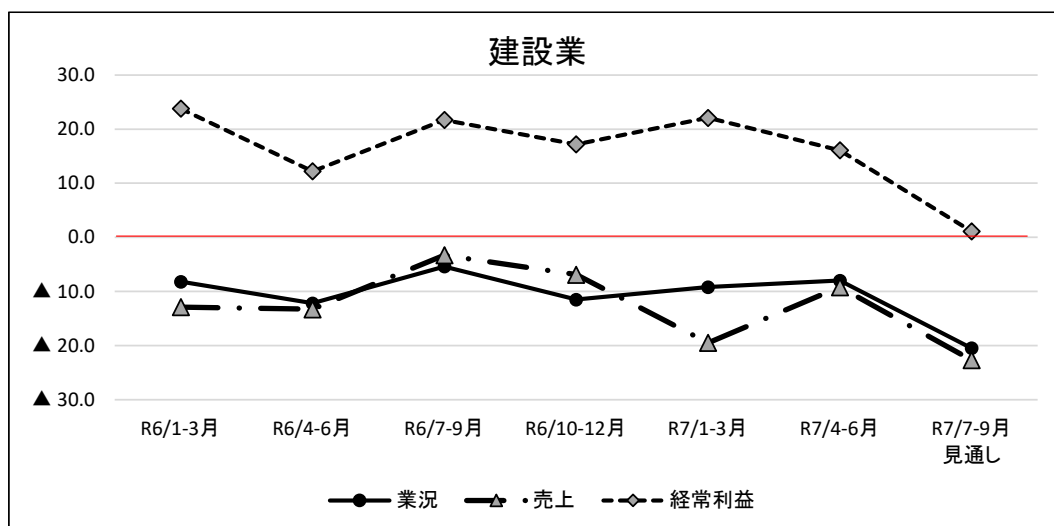
小売業	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 22.0	▲ 22.0
売上	▲ 2.9	▲ 4.6	1.6	▲ 24.1	1.7	▲ 18.0	▲ 20.0
経常利益	5.7	4.6	4.8	▲ 6.9	1.7	12.0	6.0
資金繰り	▲ 12.9	▲ 9.2	▲ 15.9	▲ 24.1	▲ 5.3	▲ 20.0	▲ 14.0
傾向	●	×	●	×	●	×	▲



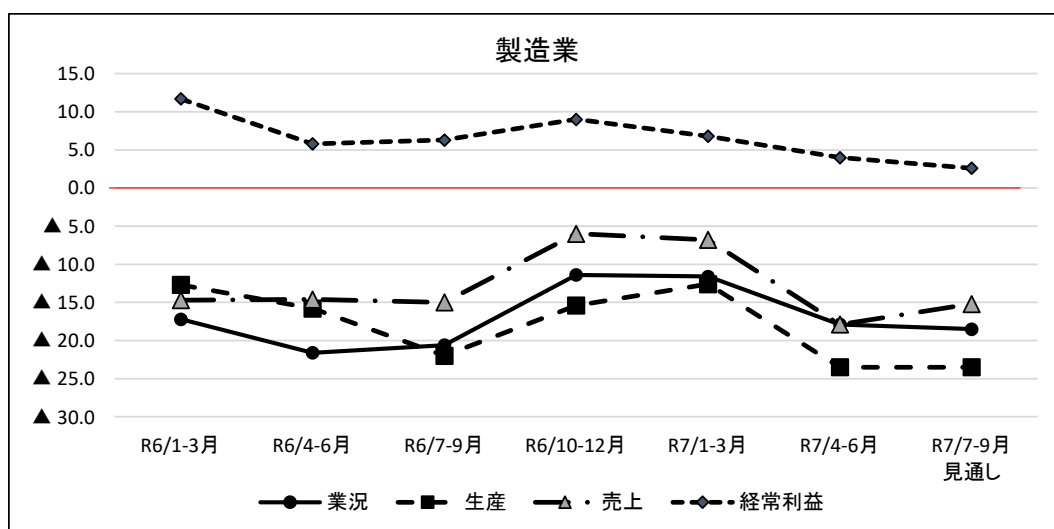
サービス業	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 3.6
売上	▲ 6.0	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 8.2	7.1	0.0
経常利益	8.2	13.9	6.0	11.6	▲ 0.9	8.9	3.6
資金繰り	▲ 16.5	▲ 4.4	0.8	▲ 4.2	▲ 8.2	1.8	▲ 8.9
傾向	×	×	●	×	×	●	×



建設業	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 20.5
売上	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 9.2	▲ 22.7
経常利益	23.8	12.2	21.7	17.2	22.1	16.1	1.1
資金繰り	1.2	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 3.4
傾向	●	×	●	×	●	●	×



製造業	R6/1-3月	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月 見通し
業況	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 17.9	▲ 18.5
生産	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 23.5
売上	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 17.9	▲ 15.2
経常利益	11.7	5.8	6.3	9.0	6.8	4.0	2.6
資金繰り	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 19.9
傾向	×	×	●	●	×	×	×



② 滋賀県の景況調査〔企業から寄せられたコメント〕

滋賀県内企業のコメント（R7/4-6月期）	
業況判断【好転】企業コメント	・前年度より順調な工事時受注だが、毎年のこと。先がわからないのがこの業種で、不安な面もある（建設業）。 ・上半期好調も、下半期は関税影響が出てくると予想（製造業）。 ・物価高騰などにより受注額が増えている。D X 化の推進等による業務効率化により、経常利益が好転した（建設業）。 ・外国人観光客の増加の影響で需要は増えているが、内職手作業で急激な増産に対応しづらいので、売上は微増となる見通し（サービス業）。 ・前期の大型工事の入金により資金繰りが安定したが、人員不足により受注できる工事が限られてきている（建設業）。 ・県の補助金等、支援で助かる傾向に思える（小売業）。
業況判断【不変】企業コメント	・仕入れ、人件費、その他経費が増加していく中で、価格の転嫁が必須となる（卸売業）。 ・大阪万博開催に伴い貸切バス不足により旅行が受注できない（サービス業）。 ・現状、人員不足ではないが、新卒採用は希望人数に至ってはいない。今後も厳しい状況が続くと予想される（製造業）。 ・先行きが不透明であるため資金繰りが厳しい（小売業）。
業況判断【悪化】企業コメント	・客先の設備投資が少なく、工事物件がすくない（建設業）。 ・自動車、産業機械の受注状況回復が見込まれず、業界の見通しが悪く、生産状況も悪化するとされる（製造業）。 ・消費者の財布のひもは固く、客単価が下がってきていて、今夏も同じ状態が続くと考え（小売業）。 ・売上高の大半を輸出関連に依存していて、トランプ関税の影響により5月から輸出がストップした（製造業）。 ・材料費高騰により値上げしたところ、買い控えが出てきたように思われる（製造業）。

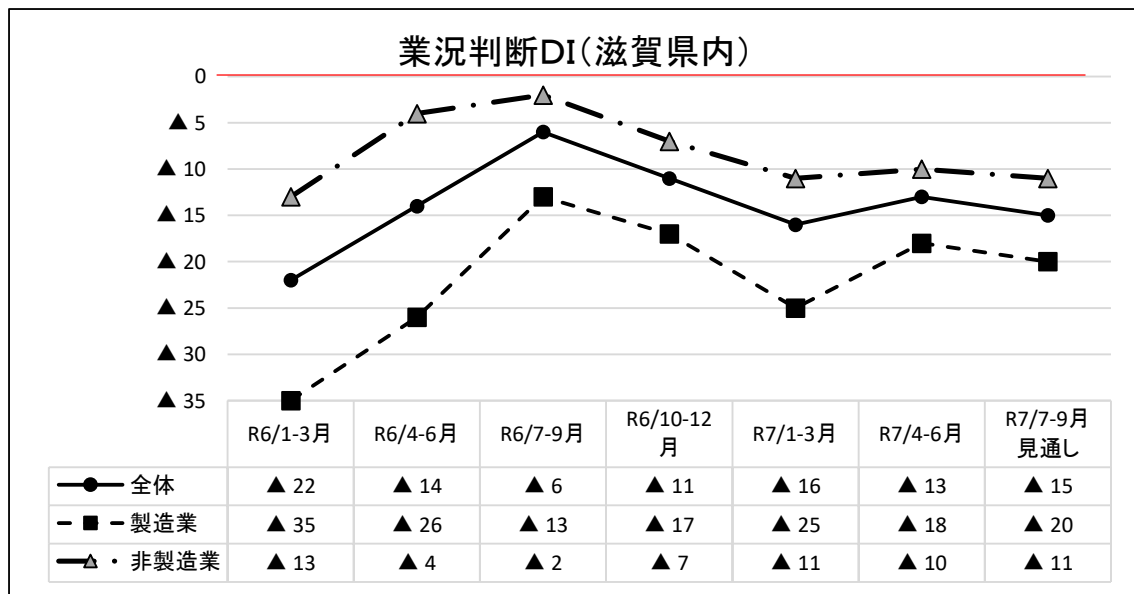
（２） 県内経済概況(株)しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」（令和7年5月ー令和7年7月公表）

R7/4	緩やかに持ち直している
造業の生産活動は、ウエイトの高い化学などが上昇し、生産用機械が高水準を維持したため、全体では4か月ぶりに上昇した。需要面では、小売業6業態計の売上高は4か月連続かつ僅かながら増加しているものの、実質個人消費はこのところ弱含んでいるとみられる。投資需要では、民間設備投資が7か月ぶりの高水準となり、住宅投資と公共投資が大幅増加した。よって、県内景気の現状は、緩やかに持ち直しているとみられる。	
R7/5	持ち直しの動きがやや弱まっている
製造業の生産活動は、生産用機械やウエイトの高い化学などが低下し、輸送機械が約1年ぶりの低水準となったことから、全体では2か月ぶりに大幅低下した。需要面では、小売業6業態計の売上高は5か月連続で増加しているものの、物価高騰により実質個人消費はこのところ弱含んでいるとみられる。投資需要では、民間設備投資が大型着工のあった前年の反動などから4か月連続で大幅減少し、住宅投資と公共投資も大幅減少した。よって、県内景気の現状は、持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。	
R7/6	緩やかに持ち直している
製造業の生産活動は、生産用機械が半年ぶりの高水準となり、汎用・業務用機械なども上昇したため、全体では2か月ぶりに大幅上昇した。需要面では、物価上昇分を考慮した実質個人消費は、このところ弱含みで推移している。投資需要では、住宅投資は減少したが、民間設備投資と公共投資は大幅増加した。よって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているとみられる。	

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R7/4-6月実績、R7/7-9月見通し) [前期比較]



景況感はやや改善するも、3期連続のマイナス2ケタ台					
	回答社数	R7/1-3月期	R7/4-6月期	傾向	R7/7-9期 見通し
製造業	157	▲ 25	▲ 18	●	▲ 20
繊維	6	▲ 33	▲ 33	▲	▲ 60
木材・木製品	—	—	—	—	—
紙・パルプ	—	—	—	—	—
化学	6	▲ 20	0	●	0
石油・石炭	—	—	—	—	—
窯業・土石	6	▲ 33	17	●	17
鉄鋼	4	▲ 67	▲ 50	●	▲ 75
非鉄金属	4	33	▲ 75	×	▲ 75
食料品	14	18	14	×	7
金属製品	31	▲ 13	▲ 10	●	▲ 13
一般機械	9	0	▲ 22	×	▲ 33
電気機械	12	▲ 86	▲ 17	●	▲ 17
輸送用機械	3	▲ 50	▲ 33	●	▲ 33
精密機械	9	▲ 75	▲ 33	●	▲ 44
その他	49	▲ 21	▲ 25	×	▲ 17
非製造業	190	▲ 11	▲ 10	●	▲ 11
建設	54	▲ 4	▲ 9	×	▲ 23
不動産	17	0	18	●	6
卸売	27	▲ 25	▲ 7	●	0
小売	27	▲ 15	▲ 33	×	▲ 35
運輸・通信	12	11	0	×	▲ 8
電気・ガス	—	—	—	—	—
サービス	42	▲ 23	0	●	5
リース	—	—	—	—	—
その他	10	14	▲ 40	×	▲ 22

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

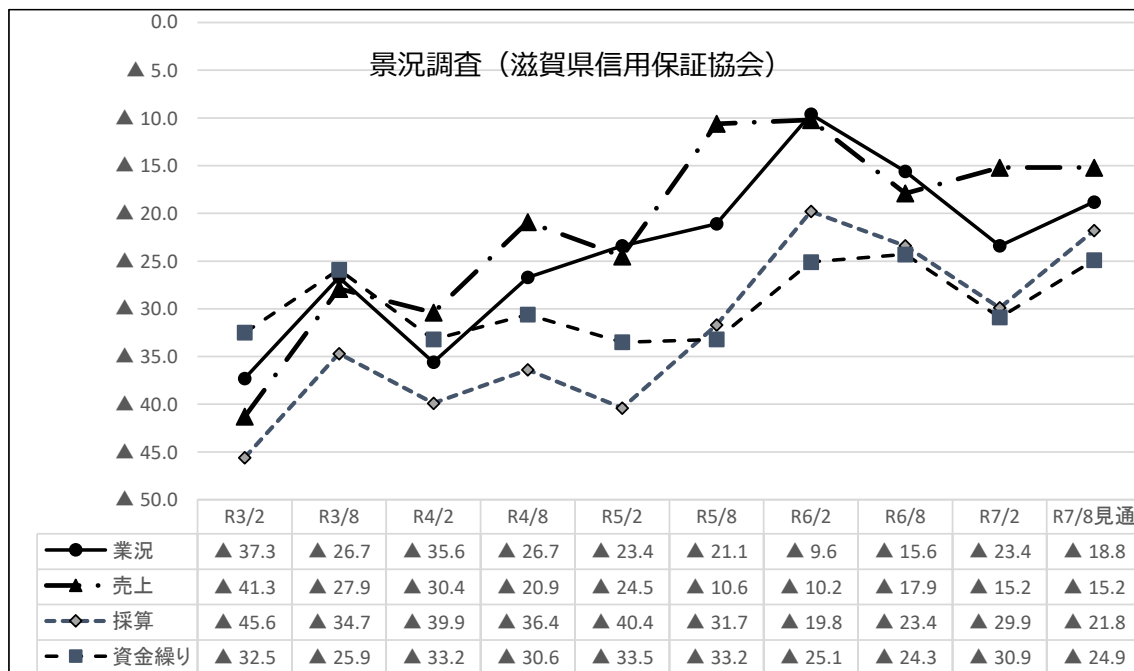
県内景気天気図	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
景気全体	▲	▲	▲	▲	×	▲
生産活動	×	×	×	●	×	●
個人消費	▲	▲	▲	▲	●	▲
民間設備投資	●	×	▲	▲	×	●
住宅投資	×	▲	×	●	×	×
公共投資	●	●	×	●	×	●
雇用情勢	▲	▲	▲	▲	▲	▲

* 変化方向…前月比、●は上昇・好転、▲は横ばい、×は下降・悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R7/2)

実施内容	調査時期：令和7年2月		調査方法：無記名アンケート方式	
	配布数： 500		回答数： 197	回答率： 39.4%
業種構成	建設業	26.9%	サービス業	22.8%
	小売業	13.2%	卸売業	6.6%
	運輸通信業	2.5%	その他	6.1%
従業員規模	5人以下	65.5%	6～20人	27.4%
			21人以上	6.6%



3. 近畿の景況

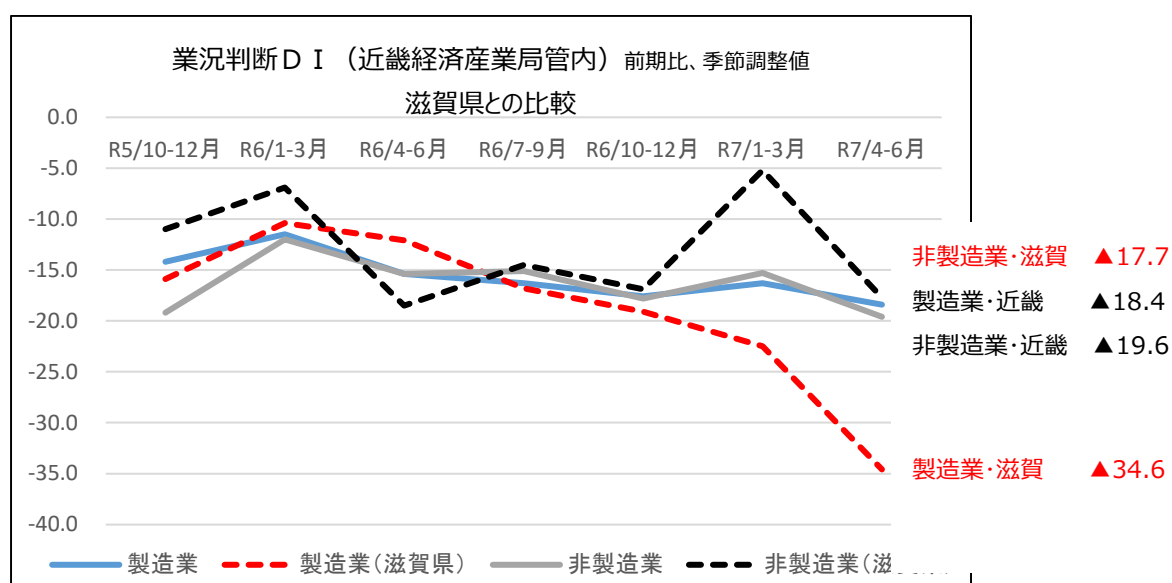
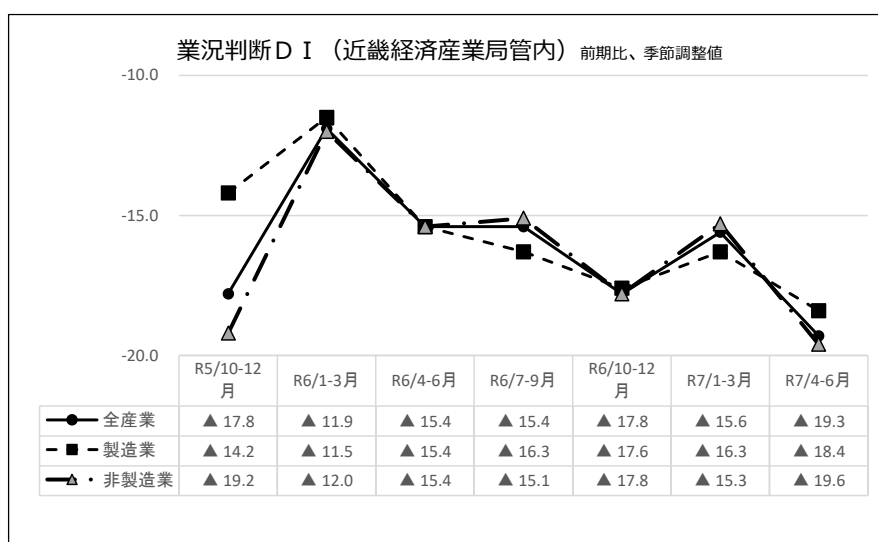
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）（2025年5月指標を中心として）

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産は、弱含みで推移している。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに改善している。設備投資は、増加している。住宅投資は、おおむね横ばいとなっている。貿易は、輸出は前年同月を上回った。雇用は、緩やかに持ち直している。先行きについては、物価上昇の影響、人手不足や賃上げの動向、為替の変動、米中をはじめ海外経済の動向を注視していくことが必要である。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断 DI [前期比較]

① 業種別業況判断 DI



4. 全国の景況

(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

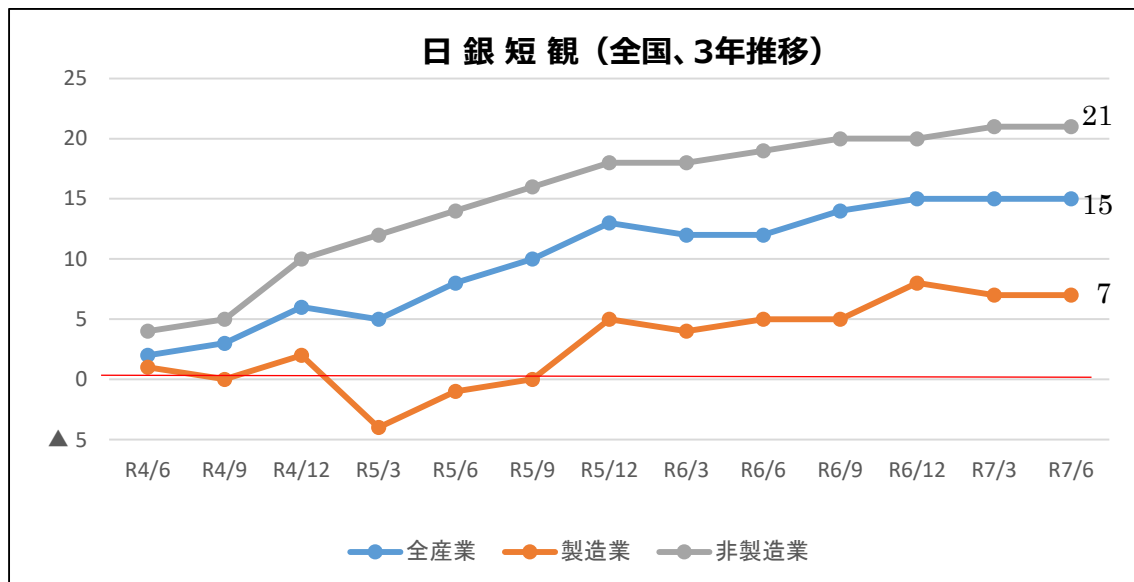
①大企業の業況判断 DI～製造業は改善、非製造業は悪化

- ・大企業製造業は、前回調査から1ポイント改善の13となった。海外景気の減速や米国トランプ大統領による関税引き上げが逆風になったとみられるが、素材業種では、燃料価格を中心とした投入コストの減少や自動車をはじめとした最終製品の需要の底堅さが下支えとなり、鉄鋼や紙・パルプ、石油・石炭製品等の景況感改善につながった。一方、加工業種では、金属製品や個別に高い関税が課せられている自動車等を中心に景況感は悪化した。
- ・大企業非製造業は、前回調査から1ポイント悪化の34となった。引き続き水準は高いものの、建設コストの高止まりや金利の上昇、物価高の長期化、人手不足感の強まりといった下押し材料も多く、物品賃貸や不動産、通信、小売をはじめとした幅広い業種において景況感が悪化した。

② 中小企業の業況判断 DI～製造業、非製造業ともに悪化

- ・中小企業の業況判断 DI（最近）は、製造業では前回調査から1ポイント悪化の1、非製造業も1ポイント悪化の15となった。全産業では横ばいであることを踏まえると、いずれも小幅な悪化にとどまったと言え、中小企業においても景況感の底堅さを確認する結果となった。海外景気の減速や米国による関税引き上げの悪影響が、まだ国内には十分に及んでいないことがその一因と考えられる。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2025年7月1日）より）



③設備投資計画

- ・2025年度の設備投資計画は、大企業製造業では前年比+14.3%、非製造業では同+9.9%と、高めの計画となっている。例年よりも非製造業の上方修正幅が大きく、企業の設備投資意欲の堅調さを確認できる。
- ・中小企業では例年通り、製造業は前年比プラス、非製造業はマイナスの計画となっており、こちらは今後、投資計画の進捗に伴って上方修正されていく見通しである。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年7月1日)より)

設備投資計画 (含む土地投資額)		2024年度(実績)	2025年度(計画)		土地投資額	2024年度(実績)	2025年度(計画)	
		6月調査	3月調査	6月調査		6月調査	3月調査	6月調査
大企業	製造業	7.6	4.8	14.3	大企業	製造業	13.4	5.5
	非製造業	7.4	2.1	9.9		非製造業	0.7	-4.5
中堅企業	製造業	4.9	11.1	15.7	中堅企業	製造業	26.3	-61.0
	非製造業	8.9	-6.8	-4.2		非製造業	28.0	-34.5
中小企業	製造業	9.5	0.2	1.6	中小企業	製造業	-14.0	-24.3
	非製造業	7.0	-15.0	-9.0		非製造業	9.9	-50.2

* 除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

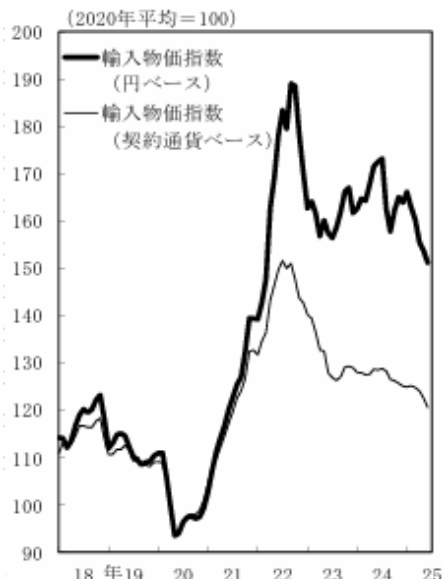
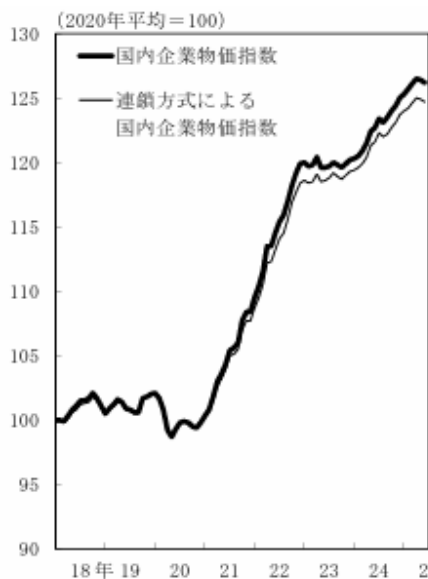
ソフトウェア投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)		研究開発投資額	2024年度(実績)	2025年度(計画)	
		6月調査	3月調査	6月調査		6月調査	3月調査	6月調査
大企業	製造業	8.5	1.4	8.2	大企業	製造業	5.7	1.6
	非製造業	7.6	2.4	11.4		非製造業	5.1	2.8
中堅企業	製造業	3.1	17.3	34.6	中堅企業	製造業	5.3	2.9
	非製造業	-7.1	5.4	11.0		非製造業	18.1	6.3
中小企業	製造業	0.3	24.9	40.2	中小企業	製造業	3.3	-0.2
	非製造業	-8.5	10.7	15.1		非製造業	10.9	9.4

④企業物価指数および企業向けサービス価格指数 (2025年6月速報)

国内企業物価指数は126.2、前年比2.9%上昇したが、10カ月ぶりに2%台となった。コメや鶏卵等の食料品価格が高止まりしているが、ガソリン補助金の拡充や原油価格下落の影響で前年比の伸び率は3カ月連続で鈍化した。

輸入物価指数(円ベース)は151.2で、原油価格の下落などから前年比マイナス12.3%と5カ月連続で低下した。

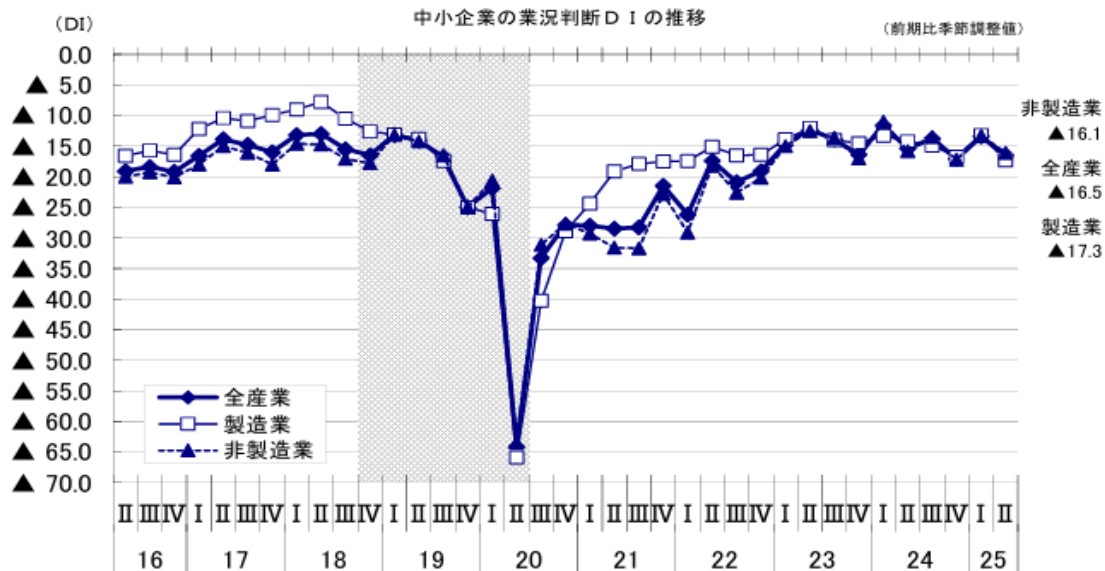
企業向けサービス価格指数は110.7、前年比3.2%上昇した。伸び率は前月を下回ったものの、9カ月連続で3%台の高水準になった。人件費の高騰をサービス価格に反映する動きが続いている。



(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）「全国」[前期比較]

①業種別業況判断DI

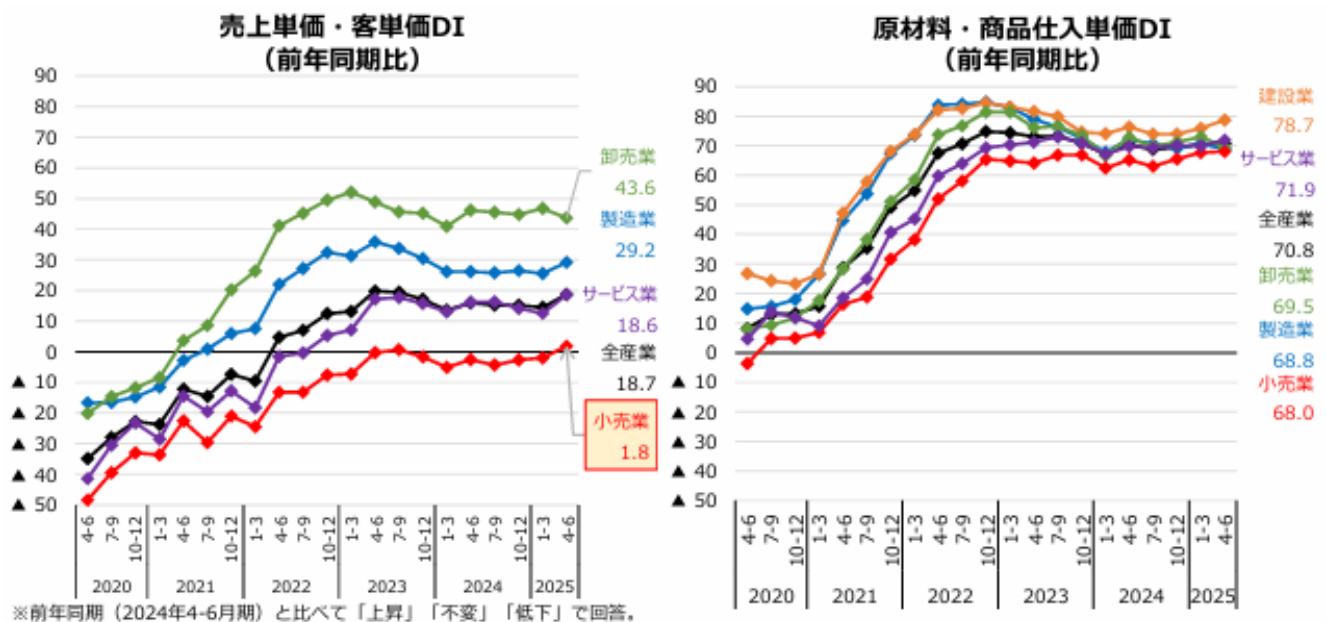
全産業の業況判断DIは▲16.5（前期差 3.1 点減）となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。製造業は▲17.3（同 4.1 点減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大、非製造業は▲16.1（同 2.8 点減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。



(注) 網掛け部分は景気後退期

②トピックス：産業別売上単価・客単価DIと原材料・商品仕入単価DI

「売上単価・客単価DI（前年同期比）」は、小売業が7期ぶりにプラス圏へ再浮上し、物価高が進んでいることがうかがえる。他方、「原材料・商品仕入単価DI（前年同期比）」は、「売上単価・客単価DI（前年同期比）」に比べ高水準となっており、いずれの産業も高止まりの状態が続いている。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)